

## 東京大学医学部附属病院検査部にて臨床検査を受けた患者さんへ

### 【研究課題】

臨床オミクス解析の精度向上を目的とした pooled QC サンプルの調製方法と性能に関する研究（審査番号 2019022NI）

### 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関	東京大学医学部附属病院検査部 東京大学大学院医学系研究科リポドミクス社会連携講座 東京大学大学院医学系研究科ライフサイエンス研究機器支援室
研究責任者	ライフサイエンス研究機器支援室 准教授 北 芳博
担当業務	データ収集・匿名化・データ解析

### 【共同研究機関】

研究機関 なし

### 【研究期間】

2019年5月31日～2024年3月31日

### 【対象となる方】

2019年5月31日～2023年3月31日の間に東京大学医学部附属病院外来受診および入院された患者さん。通常診療の一環として提出された検体の残検体を使用するため、採血量や採尿量が増えることもなく、本研究により新たな侵襲は加わりません。

### 【研究の意義と目的】

本研究では、患者さんの血液や尿に含まれる代謝物やタンパク質の量や質に関する情報を集めその特徴を調べる研究において、比較の基準となるクオリティ・コントロール（QC）サンプルの作製方法に関する研究です。良いQCサンプルを用いることで、解析を精度良く行うことができるようになることが期待されます。

### 【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。廃棄前の残検体を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

### 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの試料は、解析する前に他の試料と混ぜ合わせてしまい、あなたの個人情報とは一切連結できません。混ぜ合わせた試料はリポドミクス社会連携講座において北芳博が、鍵のかかる保管庫で厳重に保管します。混ぜ合わせた試料からは個人の結

果は得られないため、個人の結果をあなたにお伝えすることはできません。

この研究のためにご自分あるいはご家族の試料を使用してほしくない場合は、下記の連絡先まで採血または採尿後 3 週間以内にご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後 5 年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば可能な限り開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら連絡先へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科リピドミクス社会連携講座の運営費、および東京大学医学部附属病院検査部の運営費から支出されています。○本研究は、株式会社島津製作所より研究資金を受けて実施いたしますが、東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。

○本研究は、株式会社島津製作所より研究資金を受けて実施いたしますが、研究の実施や報告の際に、株式会社島津製作所に都合のよい成績となるよう意図的に導いたりすることはありません。

○本研究により得られた情報（QC サンプルの最適な作成方法の検討結果および QC サンプルの性能に関する情報）は、リピドミクス社会連携講座の共同研究先である株式会社島津製作所に開示する予定です。

尚、あなたへの謝金はございません。

2019 年 5 月 30 日

**【問い合わせ先】**

東京大学大学院医学系研究科 准教授 北 芳博

住所：東京都文京区本郷 7-3-1

電話：03-5841-3550（内線 23550）

Eメールでのお問い合わせ：kita-yoshihiro@umin.net